

平成30年「福島県の情報教育の実態等に関する調査」結果

福島県教育センター

I 調査の目的・内容

この調査は、情報機器を活用した学習指導の推進と当教育センターの情報教育に関する研究の充実及び講座内容の改善を図るため、県内の公立学校における情報教育の実態等を把握するためのものである。具体的には、「ICTの活用状況」、「情報モラル」、「情報セキュリティ」等について調査した。

II 調査の方法

1 対象

休業校等を除いた本県の公立小学校432校、中学校215校、高等学校86校、特別支援学校17校、計750校を対象として実施し、回答率は100%であった。

2 実施期間

平成30年5月8日(火)～ 6月5日(火)

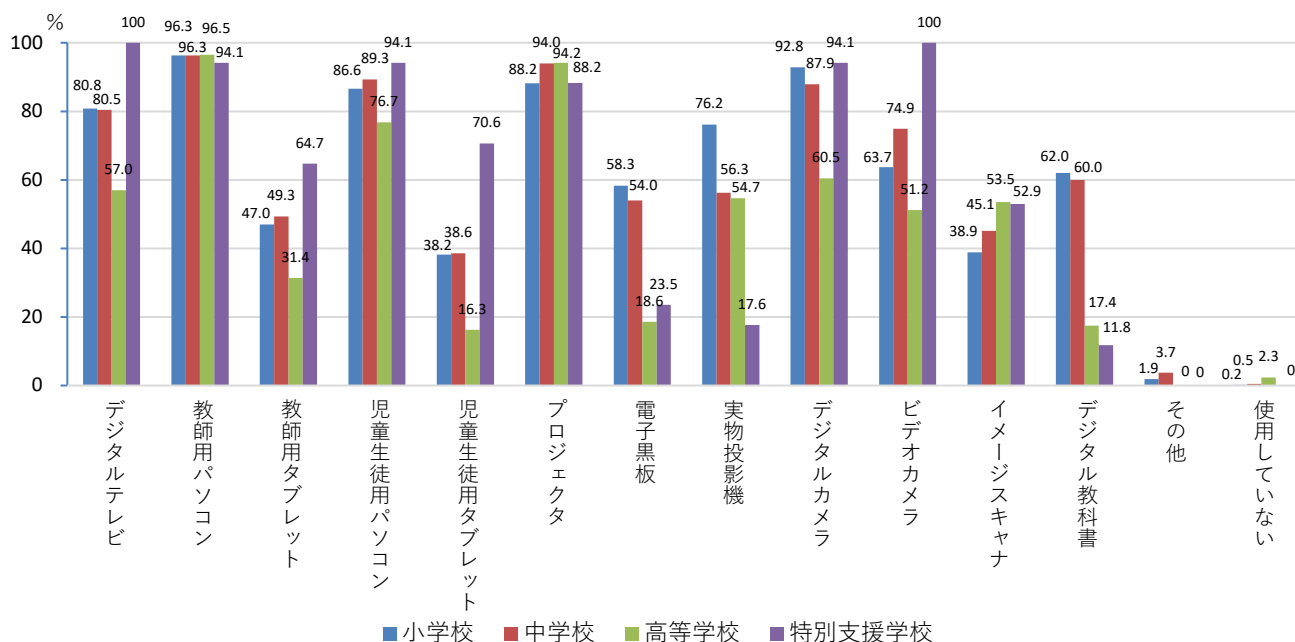
III 調査結果

1 ICTの活用状況について

(1) ① 教科指導において、どのようなICT機器・教具を使用しましたか。(複数回答可)

ア デジタルテレビ	イ 教師用パソコン	ウ 教師用タブレット
エ 児童生徒用パソコン	オ 児童生徒用タブレット	カ プロジェクタ
キ 電子黒板	ク 実物投影機(書画カメラ)	ケ デジタルカメラ
コ ビデオカメラ	サ イメージスキャナ	シ デジタル教科書
ス その他	セ 使用していない	

ICT校内活用状況

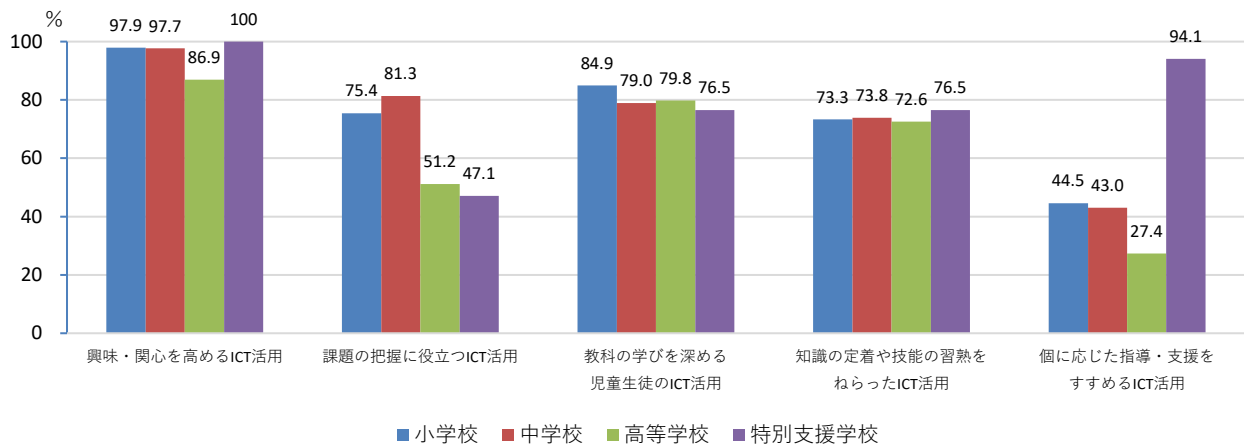


全校種において「教師用パソコン」、「児童生徒用パソコン」、「プロジェクタ」の活用割合が高い。また、小学校、中学校、特別支援学校では「デジタルテレビ」、「デジタルカメラ」の活用割合が高い。小学校では「実物投影機」の活用割合が高く、特別支援学校では「児童生徒用タブレット」の活用割合が高い。

(1) ② ①で使用した学校のみ、お答えください。
教科指導におけるICTの活用シーンはどれですか。（複数回答可）

- ア 興味・関心を高めるICT活用
- イ 課題の把握に役立つICT活用
- ウ 教科の学びを深める児童生徒のICT活用
- エ 知識の定着や技能の習熟をねらったICT活用
- オ 個に応じた指導・支援をすすめるICT活用

ICT活用のシーン

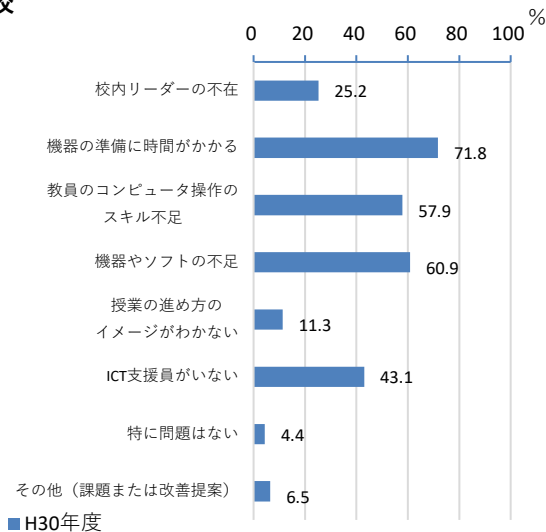


全校種において、「興味・関心を高めるICT活用」の割合が高い。「教科の学びを深める児童生徒のICT活用」と「知識の定着や技能の習熟をねらったICT活用」については、全校種で7割～8割の活用となっている。

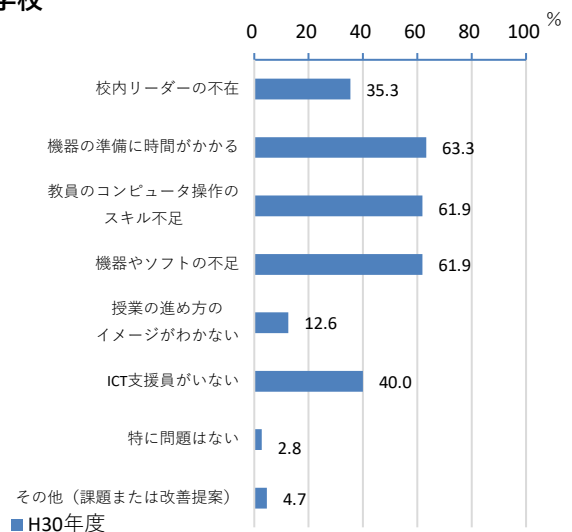
(1) ③ 日頃の授業において、ICT機器・教具を使用する際の課題はどのようなことですか。（複数回答可）

- ア 校内リーダーの不在
 - イ 機器の準備に時間がかかる
 - ウ 教員のコンピュータ操作のスキル不足
 - エ 機器やソフトの不足
 - オ 授業の進め方のイメージがわからない
 - カ ICT支援員がいない
 - キ 特に問題はない
 - ク その他（課題または改善提案）
- ④ ③で「ク その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。

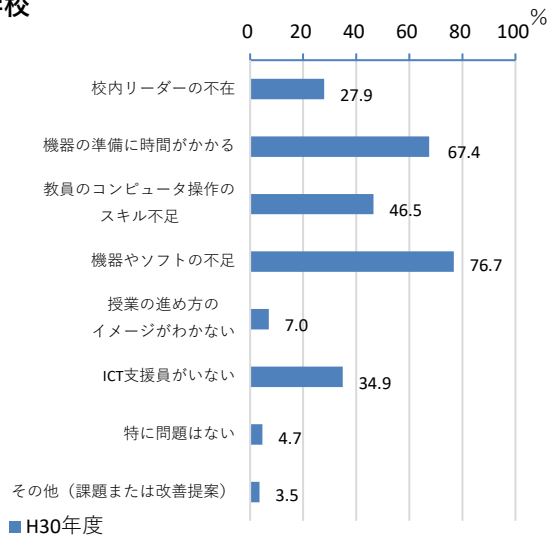
小学校



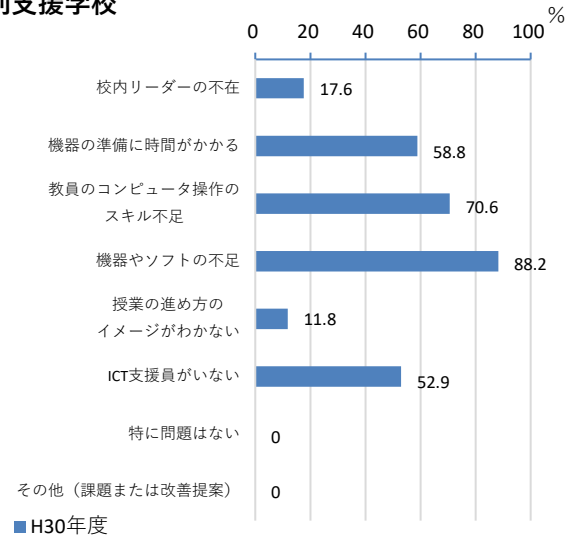
中学校



高等学校



特別支援学校



「機器の準備に時間がかかる」や「教員のコンピュータ操作のスキル不足」、「機器やソフトの不足」が課題となっている。

「ケ その他」の主な記述事項は、以下のとおりである。

- ・無線LAN環境の整備（9校）
- ・回線速度が遅く、機器の活用に支障をきたす（8校）
- ・教職員の研修時間の確保（5校）
- ・機器が不足しており、授業での活用が難しい（4校）
- ・機器の老朽化に伴う不具合への対応、ICT機器の更新（3校）
- ・デジタル教科書等、ICTソフトの不足（3校）
- ・ICT支援員が常駐ではない（3校）
- ・運用規定による制限で活用に支障がある（2校）

(2) ① 平成29年度、校務において「ふくしま教育クラウドサービス（FCS）」を使用しましたか。

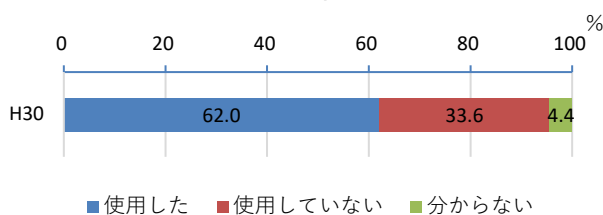
※ ふくしま教育クラウドサービスとは、G Suite for Educationを利用したクラウド型グループウェアです。

ア 使用した

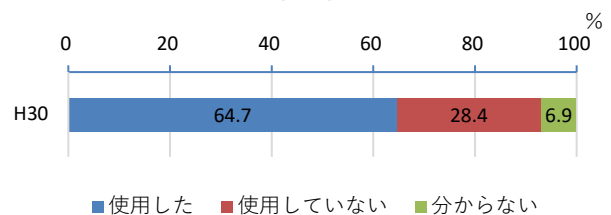
イ 使用していない

ウ 分からない

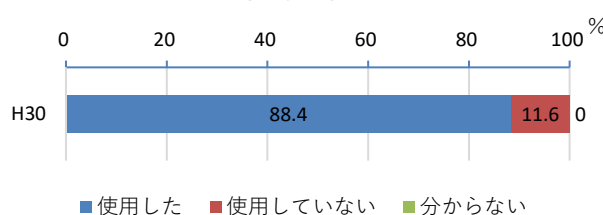
小学校



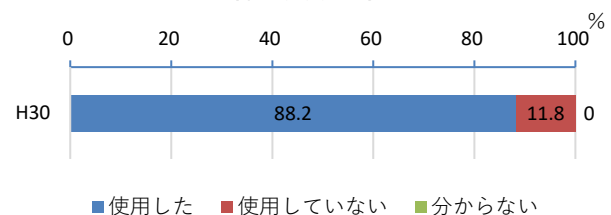
中学校



高等学校



特別支援学校



高等学校，特別支援学校でのFCS使用は8割以上である。小中学校は6割程度の使用である。

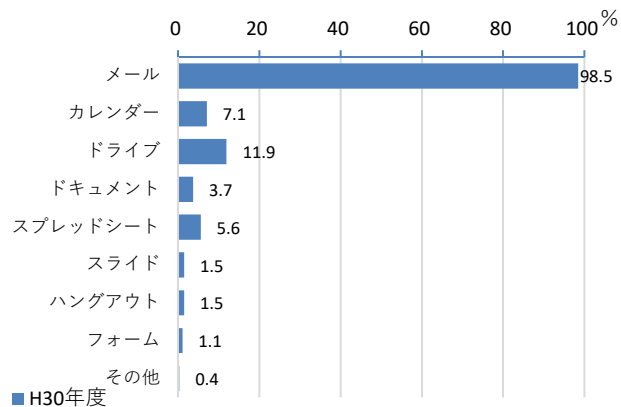
(2) ② ①で「ア 使用した」を選択した学校のみ、お答えください。

校務で使用したG Suiteのアプリはどれですか。（複数回答可）

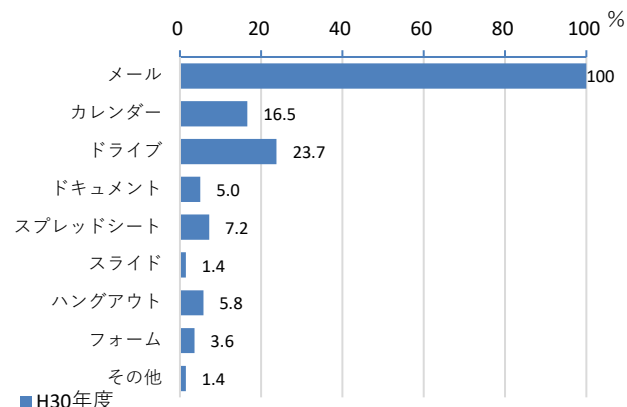
- | | | |
|----------|------------|--------|
| ア メール | イ カレンダー | ウ ドライブ |
| エ ドキュメント | オ スプレッドシート | カ スライド |
| キ ハングアウト | ク フォーム | ケ その他 |

③ ②で「ケ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。

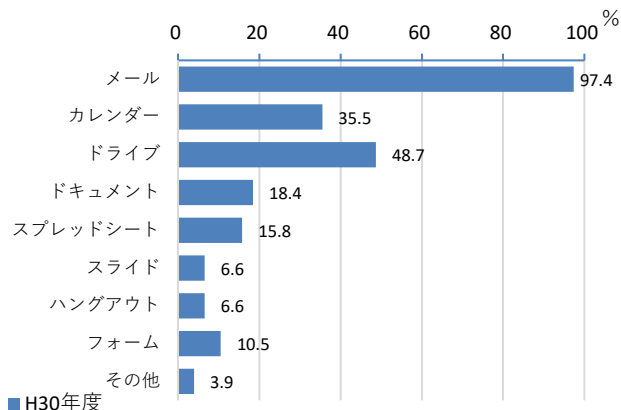
小学校



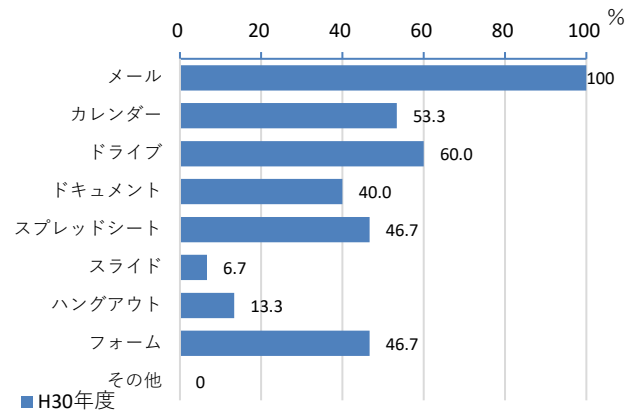
中学校



高等学校



特別支援学校



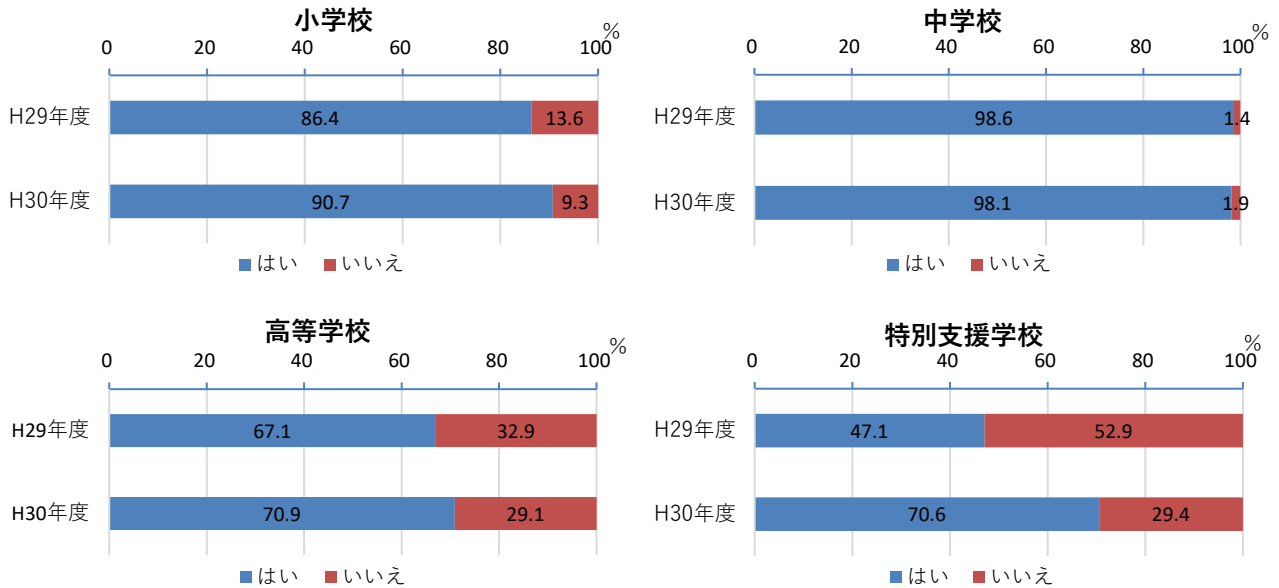
全校種で「メール」の活用割合が高い。特別支援学校は、複数のアプリを使う割合が、小学校、中学校、高等学校に比べて高い。

「ケ その他」に記述されたアプリは、以下のとおりである。

- ・Classroom (1校)
- ・サイト (1校)
- ・グループ (1校)

2 情報モラルについて

- (1) ① 平成29年度，児童生徒のスマートフォン等に関する独自調査(実態把握調査)を行いましたか。
 ア はい イ いいえ
 ② ①で「イ いいえ」を選択した学校は，その理由をお書きください。



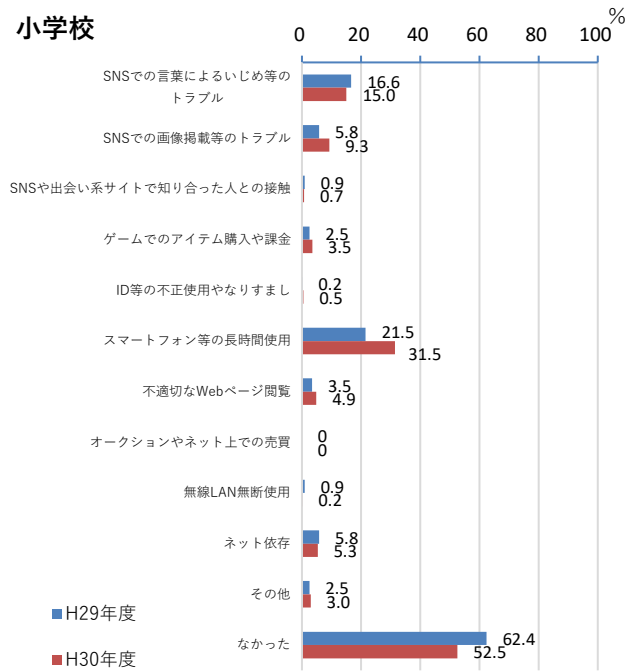
小学校，中学校では，9割以上，高等学校，特別支援学校では，7割以上で実施している。

「イ いいえ」を選択した主な理由は以下のとおりである。

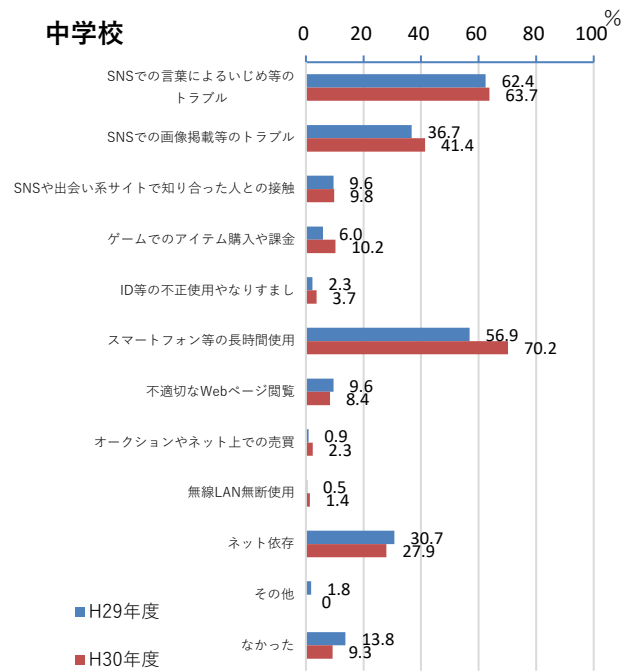
- ・外部調査(教育委員会，校長会等)と合わせて実施している(18校)
- ・特に問題が無く，必要性を感じない(17校)
- ・所持している児童生徒が少ない，所持率が低い(5校)
- ・児童，生徒数が少なく実態が把握できる(5校)
- ・ほぼ児童生徒全員が所持している(4校)
- ・個別面談(教育相談)で把握している(2校)

- (2) ① 平成29年度，児童生徒がスマートフォン等でのインターネット利用において，どのような問題が発生しましたか。(複数回答可)
- | | |
|--|------------------|
| ア SNS(LINEやTwitterなど)での言葉によるいじめ等のトラブル | |
| イ SNS(LINEやTwitterなど)での画像掲載等のトラブル | |
| ウ SNS(LINEやTwitterなど)や出会い系サイトで知り合った人との接触 | |
| エ ゲームでのアイテム購入や課金 | オ ID等の不正使用やなりすまし |
| カ スマートフォン等の長時間使用 | キ 不適切なWebページ閲覧 |
| ク オークションやネット上での売買 | ケ 無線LAN無断使用 |
| コ ネット依存 | サ その他 |
| シ なかった | |
- ② ①で「サ その他」を選択した学校は，その内容をお書きください。

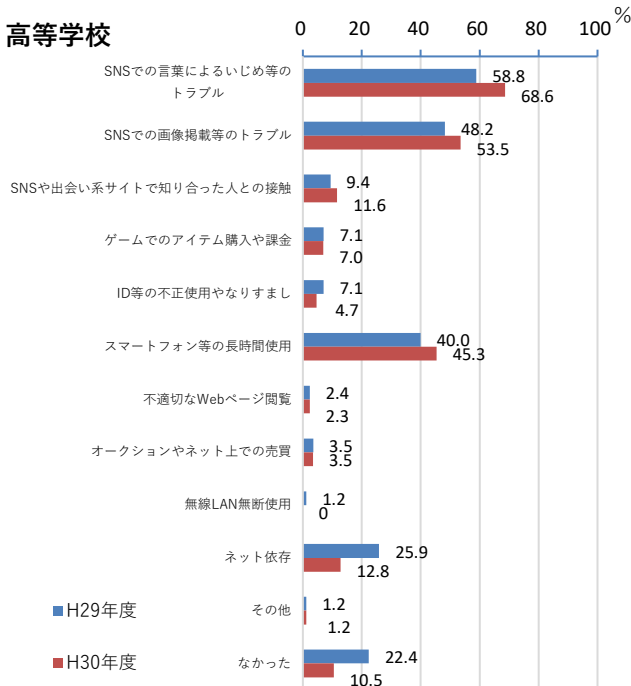
小学校



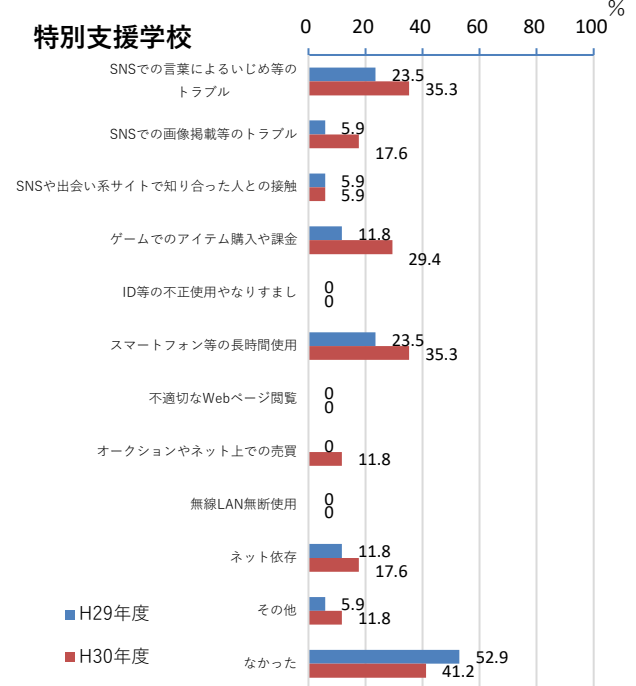
中学校



高等学校



特別支援学校



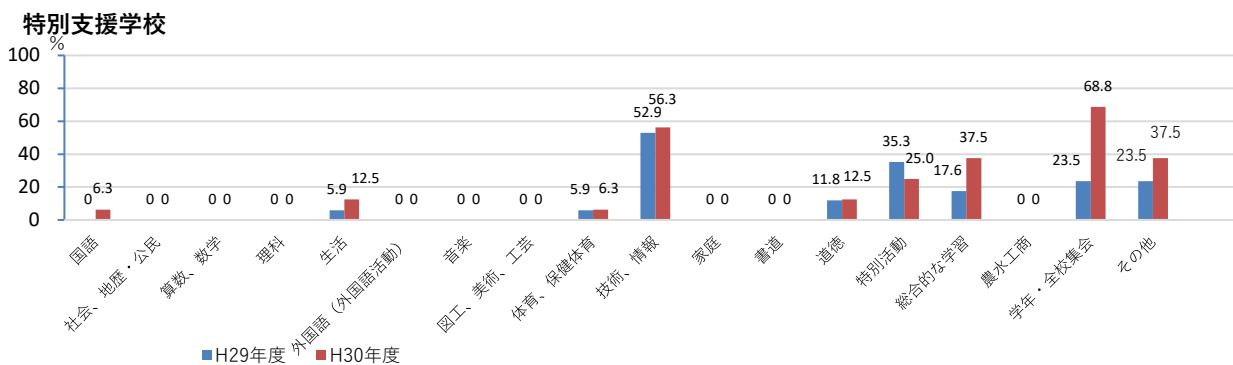
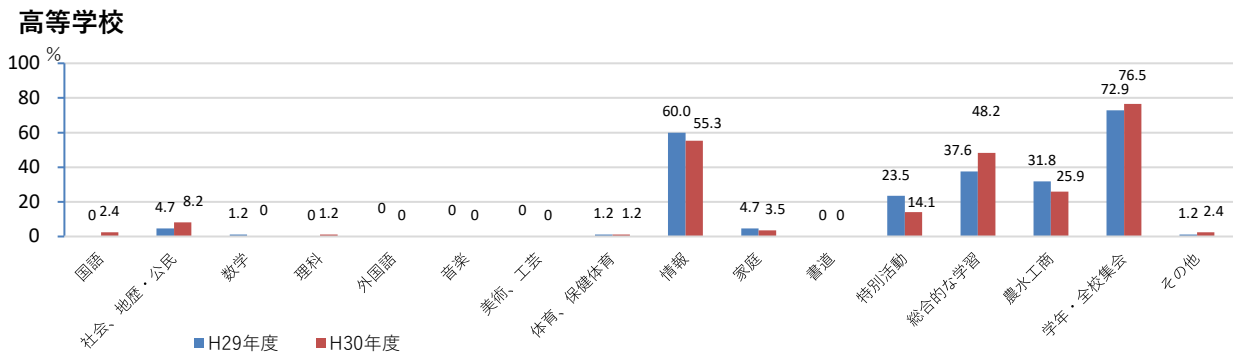
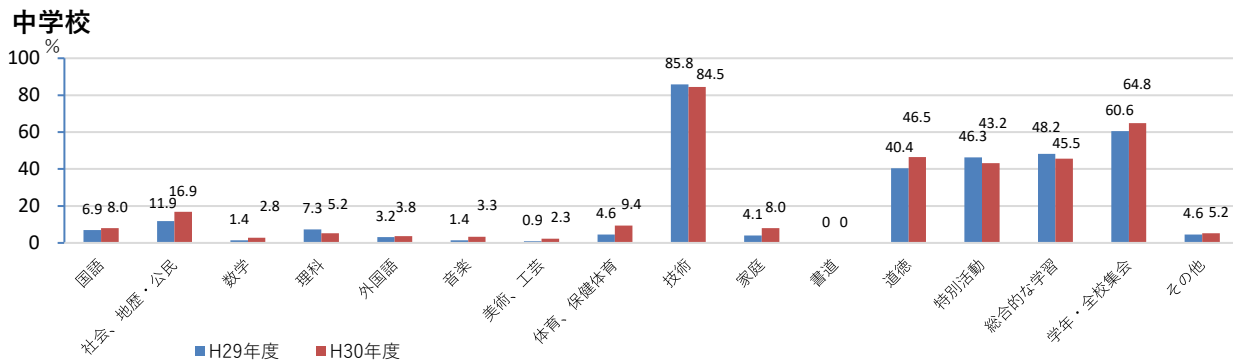
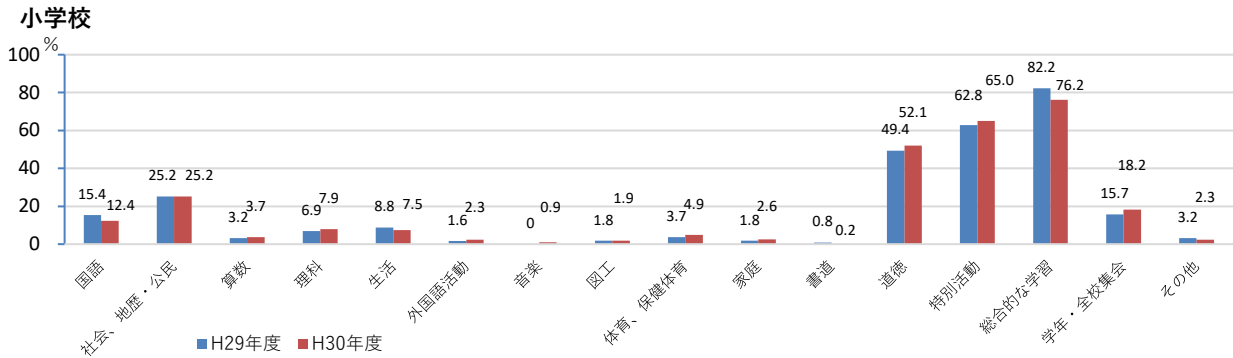
問題のなかった学校の割合が全校種で減少しており、トラブルは増加傾向である。主なトラブルはSNSに関係するものである。さらに、スマートフォンの長時間使用は、全校種で増加傾向にある。

「サ その他」を選択した主な理由は以下のとおりである。

- ・ 動画サイトへの不適切な投稿 (4校)
- ・ オンラインゲーム上でのトラブル (3校)
- ・ 深夜のインターネット使用 (1校)
- ・ 不正アプリのダウンロード (1校)

(4) ② ①で「ア 指導計画を基に、計画的に指導した」、「イ 指導計画はないが、必要に応じて指導した」を選択した学校は、どの時間に指導しましたか。(複数回答可)

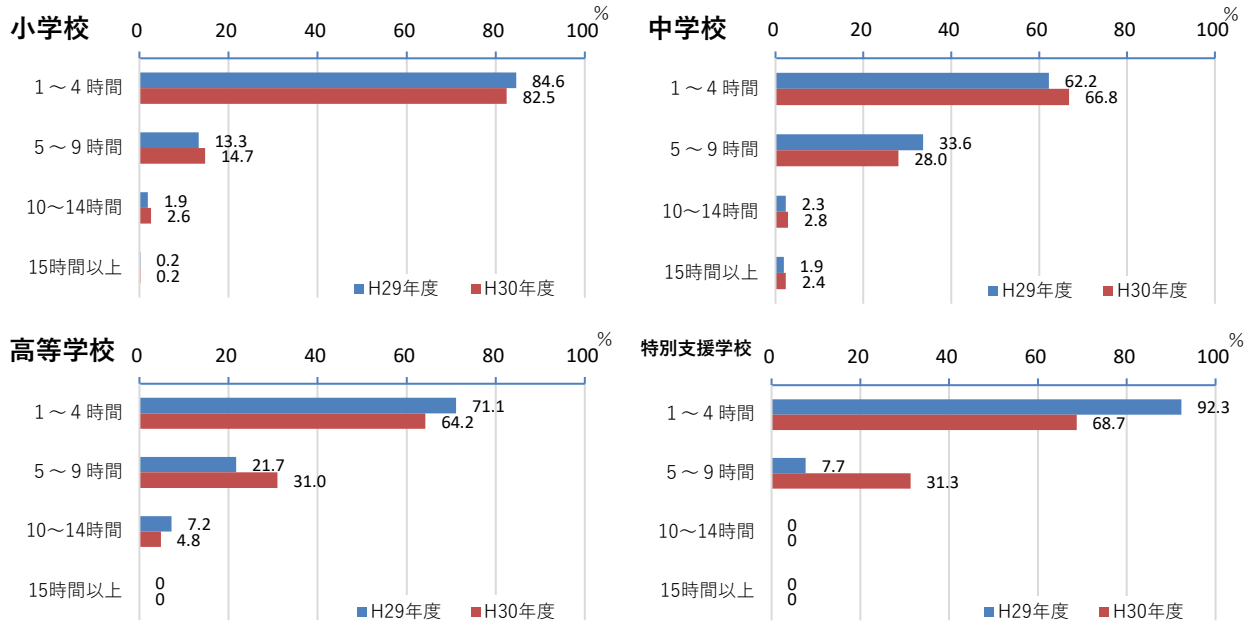
- | | | | |
|---------------------------|--------------|-------------|--------------|
| ア 国語 | イ 社会、地理歴史・公民 | ウ 算数、数学 | エ 理科 |
| オ 生活 | カ 外国語(外国語活動) | キ 音楽 | ク 図画工作、美術、工芸 |
| ケ 体育、保健体育 | コ 技術、情報 | サ 家庭 | シ 書道 |
| ス 道徳 | セ 特別活動 | ソ 総合的な学習の時間 | |
| タ 農業・水産・工業・商業・福祉・看護等の専門教科 | チ 学年・全校の集会等 | ツ その他 | |



小学校、中学校では「道徳」、「特別活動」、「総合的な学習の時間」での指導が多い、中学校、高等学校、特別支援学校では、「技術」や「情報」、「学年・全校集会」での指導が多い。

(4) ③ ①で「ア 指導計画を基に、計画的に指導した」、「イ 指導計画はないが、必要に応じて指導した」を選択した学校は、平成29年度は何単位時間程度取り組みましたか。(学年によって違いがありますが、平均した数値でお答えください。)

ア 1～4時間 イ 5～9時間 ウ 10～14時間 エ 15時間以上

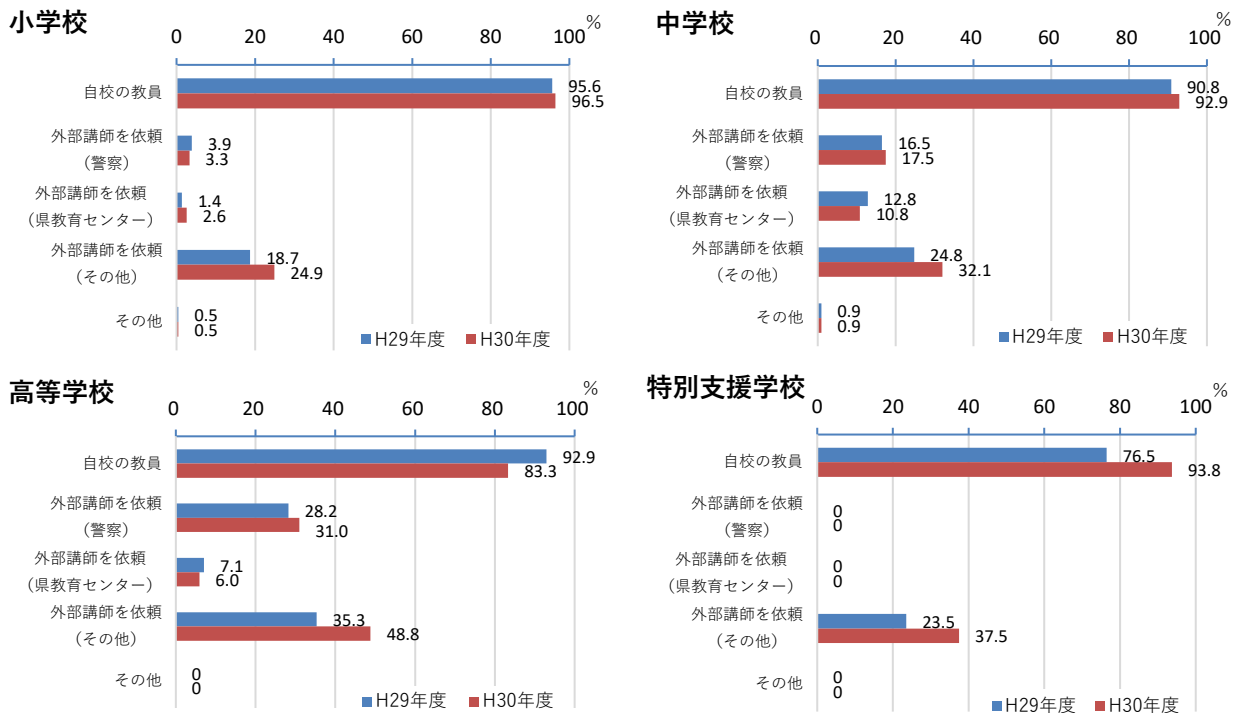


情報モラルの指導時間は、全校種で「1～4時間」が最も多い。

(4) ④ ①で「ア 指導計画を基に、計画的に指導した」、「イ 指導計画はないが、必要に応じて指導した」を選択した学校は、誰が指導しましたか。(複数回答可)

ア 自校の教員 イ 外部講師を依頼(警察)
 ウ 外部講師を依頼(県教育センター) エ 外部講師を依頼(その他) オ その他

⑤ ④で「ア 自校の教員」以外を選択した学校は、自校の教員で指導するのが困難な理由をお書きください。



全校種において「自校の教員」が情報モラル教育を行ったケースが多い。「外部講師」を依頼した情報モラルの指導は、小学校で30.8%、中学校で60.4%、高等学校で85.8%、特別支援学校で37.5%だった。

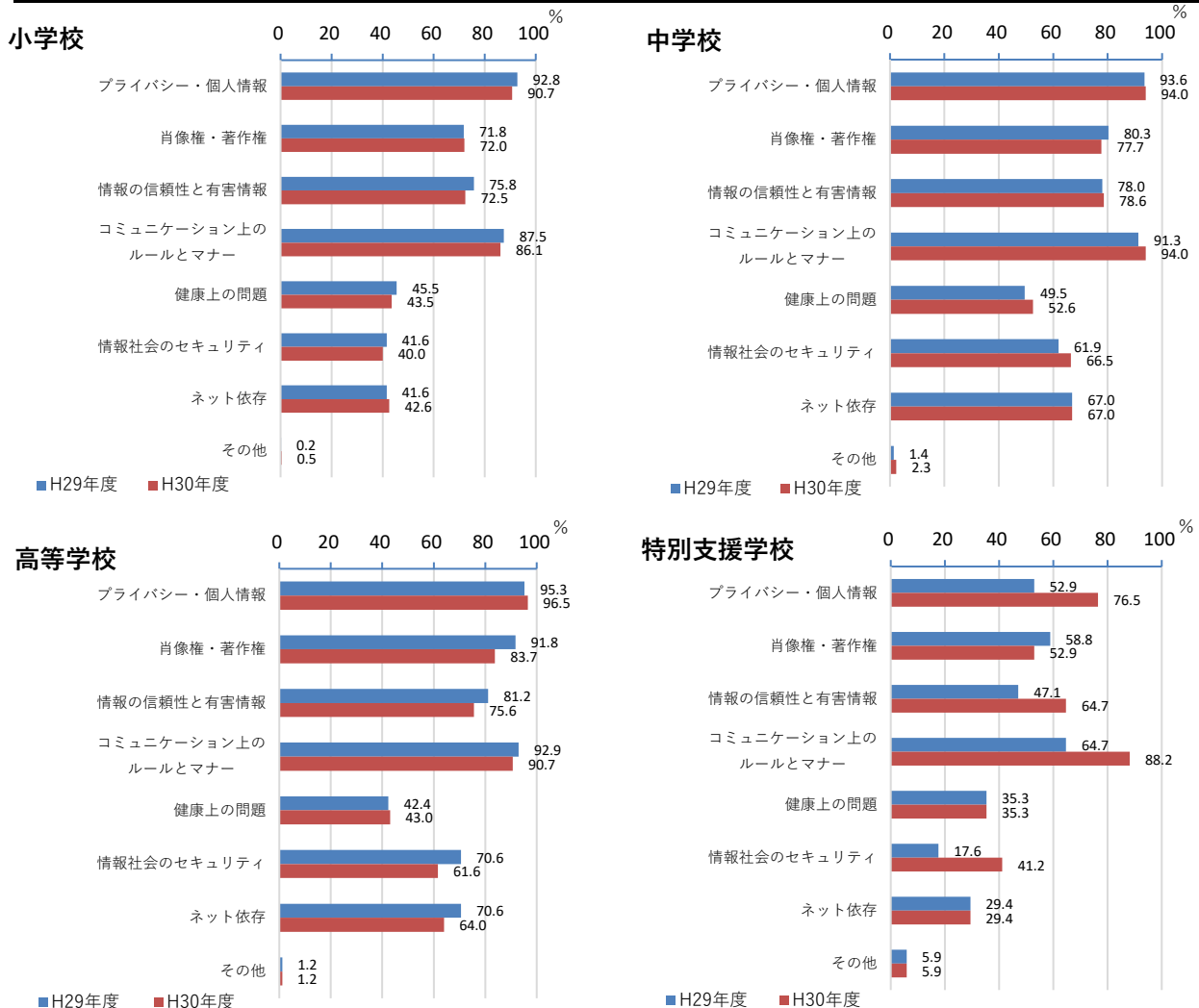
⑤「自校の教員で指導するのが困難な理由」の主な記述は、以下のとおりである。

- ・専門的な立場からの指導が効果的だと考えたため（30校）
- ・指導に必要な専門的な知識が不足しているため（29校）
- ・SNSの問題等，最新の情報や資料を入手するのが困難なため（17校）
- ・最新の情報や具体的な事例を基に指導をしていただけるため（16校）
- ・指導をするために必要な準備時間の確保が困難なため（2校）

(4) ⑥ ①で「ア 指導計画を基に，計画的に指導した」，「イ 指導計画はないが，必要に応じて指導した」を選択した学校は，その内容をお答えください。（複数回答可）

- | | | |
|----------------------|-----------|---------------|
| ア プライバシー・個人情報 | イ 肖像権・著作権 | ウ 情報の信頼性と有害情報 |
| エ コミュニケーション上のルールとマナー | オ 健康上の問題 | カ 情報社会のセキュリティ |
| キ ネット依存 | ク その他 | |

⑦ ⑥で「ク その他」を選択した学校は，指導した内容をお書きください。



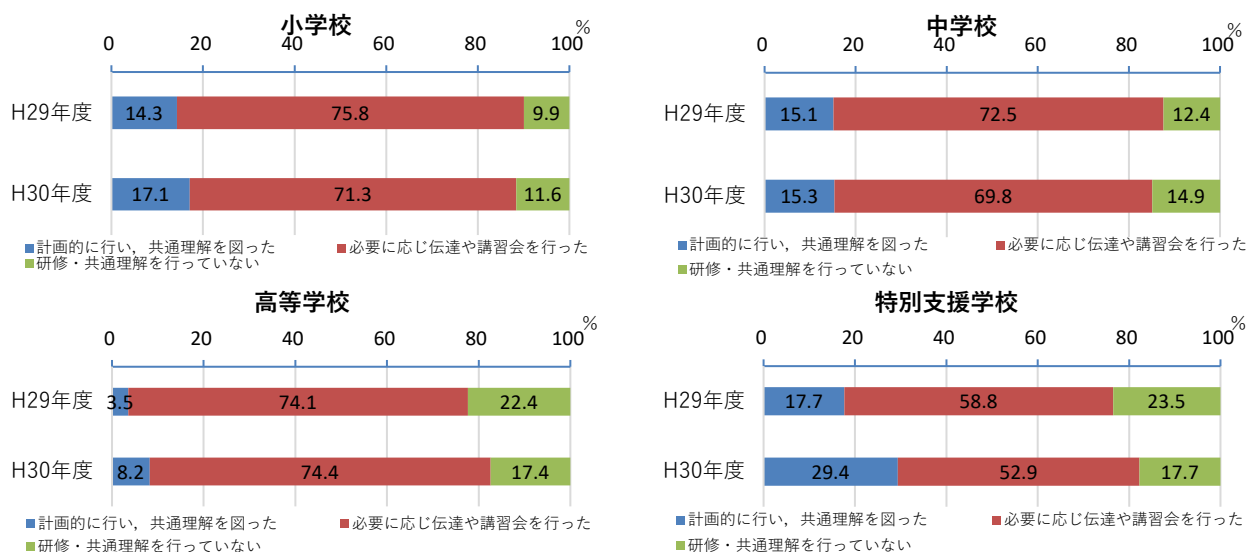
全校種において，「プライバシー・個人情報」，「肖像権・著作権」，「情報の信頼性と有害情報」，「コミュニケーション上のルールとマナー」を指導している割合が高い。

「ク その他」の主な記述は，以下のとおりである。

- ・SNSの利用について
- ・リベンジポルノ等，情報社会に潜む脅威について
- ・架空請求やSNSでのトラブルについて
- ・消費者の立場の自覚と契約面での責任について
- ・訴訟にまで発展した例について

(5) 平成29年度の情報モラルに関する校内研修についてお答えください。

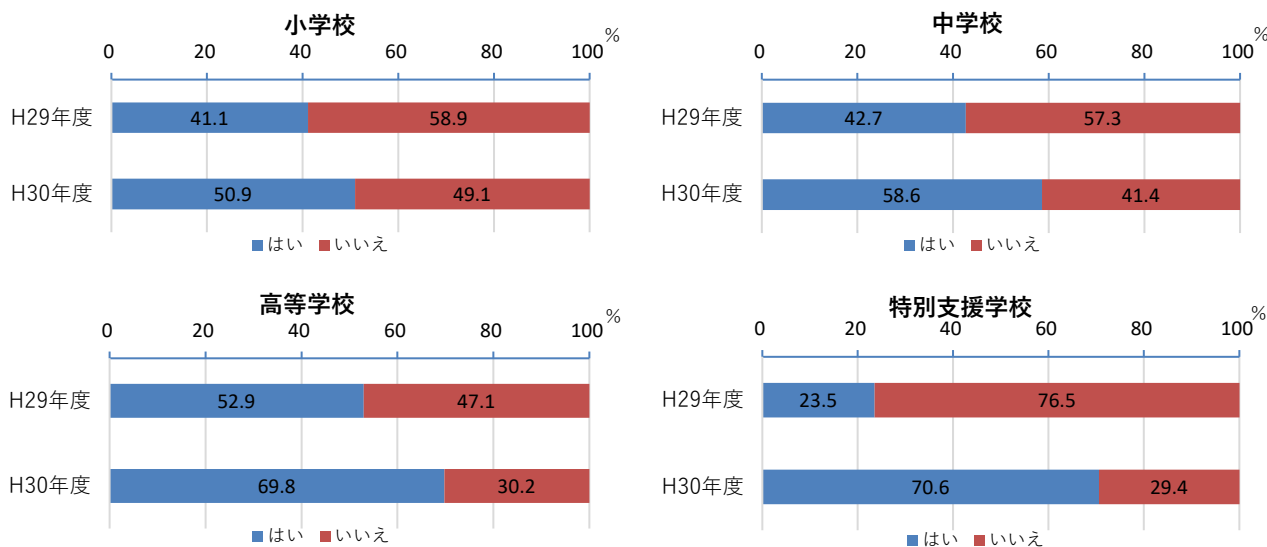
- ア 教職員対象の校内研修を計画的に行い、共通理解を図った
- イ 教職員に対する研修計画はなかったが、必要に応じて情報を伝達したり、講習会を行ったりした
- ウ 教職員には特に研修・共通理解等を行ってはいない



「校内研修を計画的に行い、共通理解を図った」、「必要に応じて情報を伝達したり、講習会を行ったりした」を合わせると全校種において8割以上となり、校内研修を実施した学校が増加している。

(6) ① 該当市町村または各校独自のスマートフォン等に関するルール等がありますか。

- ア はい
- イ いいえ



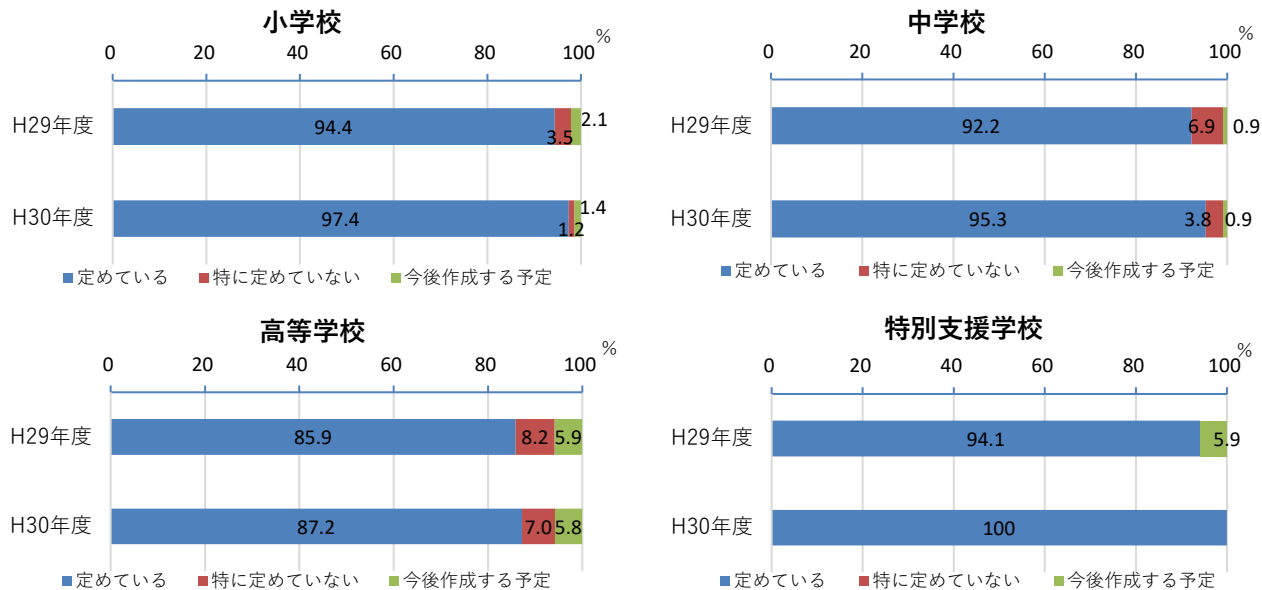
「該当市町村または各校独自のスマートフォン等に関するルールがある」と答えた学校の割合は、全校種で増加している。

(6) ② ①で「ア はい」と選択した学校は、具体的な内容をお書きください。

- ・スマートフォン等の校内への持ち込み禁止 (153校)
- ・保護者への協力要請, 家庭のルールづくり (78校)
- ・個人情報を書き込まない (57校)
- ・スクールタイム中の使用禁止, 校舎内での使用禁止(高等学校) (56校)
- ・使用時間の制限, 使用時間帯の制限 (51校)
- ・ノーメディアデーの設定 (49校)
- ・有害サイトにアクセスしない (41校)
- ・フィルタリングの設定 (36校)

3 情報セキュリティについて

(1) ① 平成29年度末において、情報セキュリティに関する校内運用規定を定めていますか。
 ア 定めている イ 特に定めていない ウ 現在は定めていないが、今後作成する予定



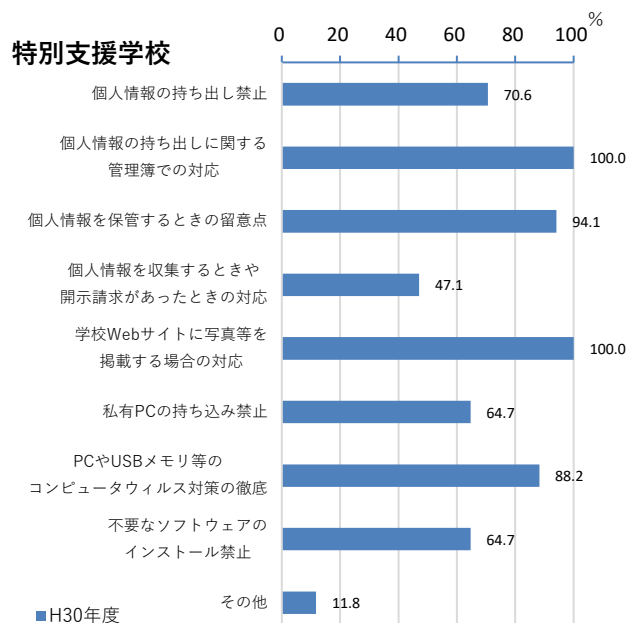
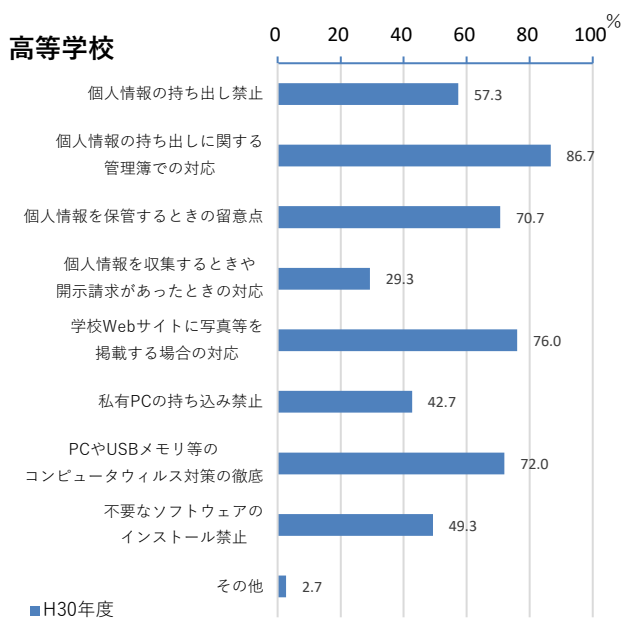
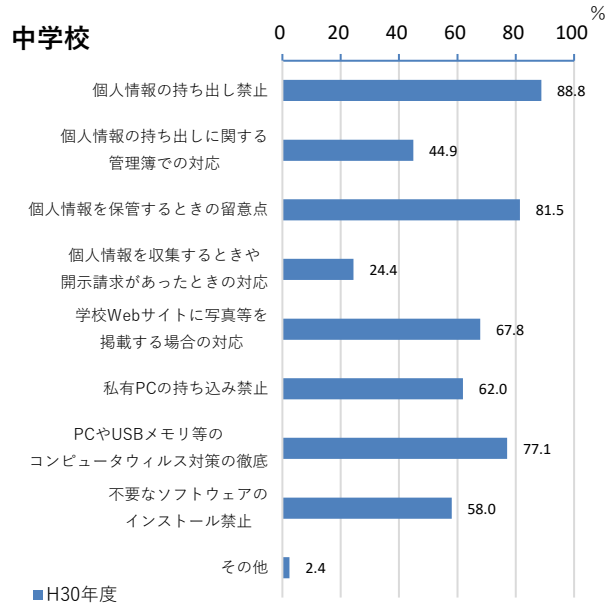
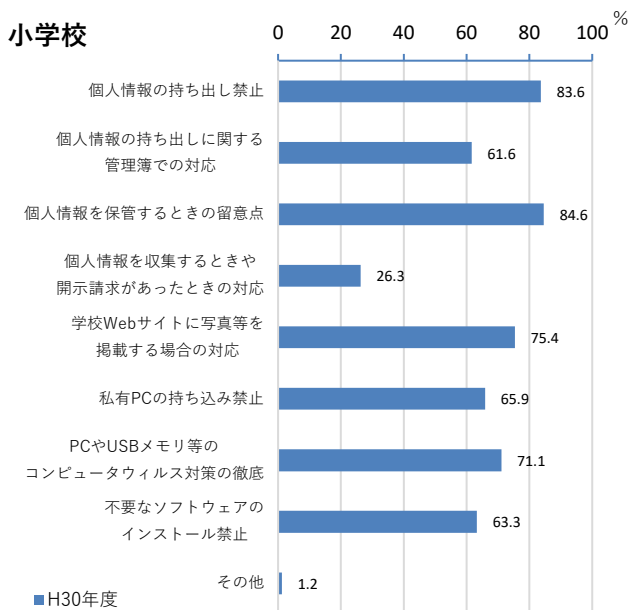
情報セキュリティに関する校内運用規定については、小学校の97.5%、中学校の95.3%、高等学校の87.2%、特別支援学校の100%が「定めている」と回答している。

(1) ② ①で「ア 定めている」を選択した学校は、主に規定している内容をお答えください。(複数回答可)

※ ここでいう個人情報とは、紙や電子データとして記録された、児童生徒や保護者及び教職員に関する氏名や生年月日、その他の個人を識別することができる情報のことです。また、直接、個人が識別できなくとも他の情報と照合することで個人を識別できる情報も含まれます。(「福島県個人情報保護条例第二条一項」に規定)

- ア 個人情報の持ち出し禁止
- イ 個人情報の持ち出しに関する管理簿での対応
- ウ 個人情報を保管するときの留意点
- エ 個人情報を収集するときや開示請求があったときの対応
- オ 学校Webサイトに写真等を掲載する場合の対応
- カ 私有PCの持ち込み禁止
- キ PCやUSBメモリ等のコンピュータウイルス対策の徹底
- ク 不要なソフトウェアのインストール禁止
- ケ その他

③ ②で「キ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。



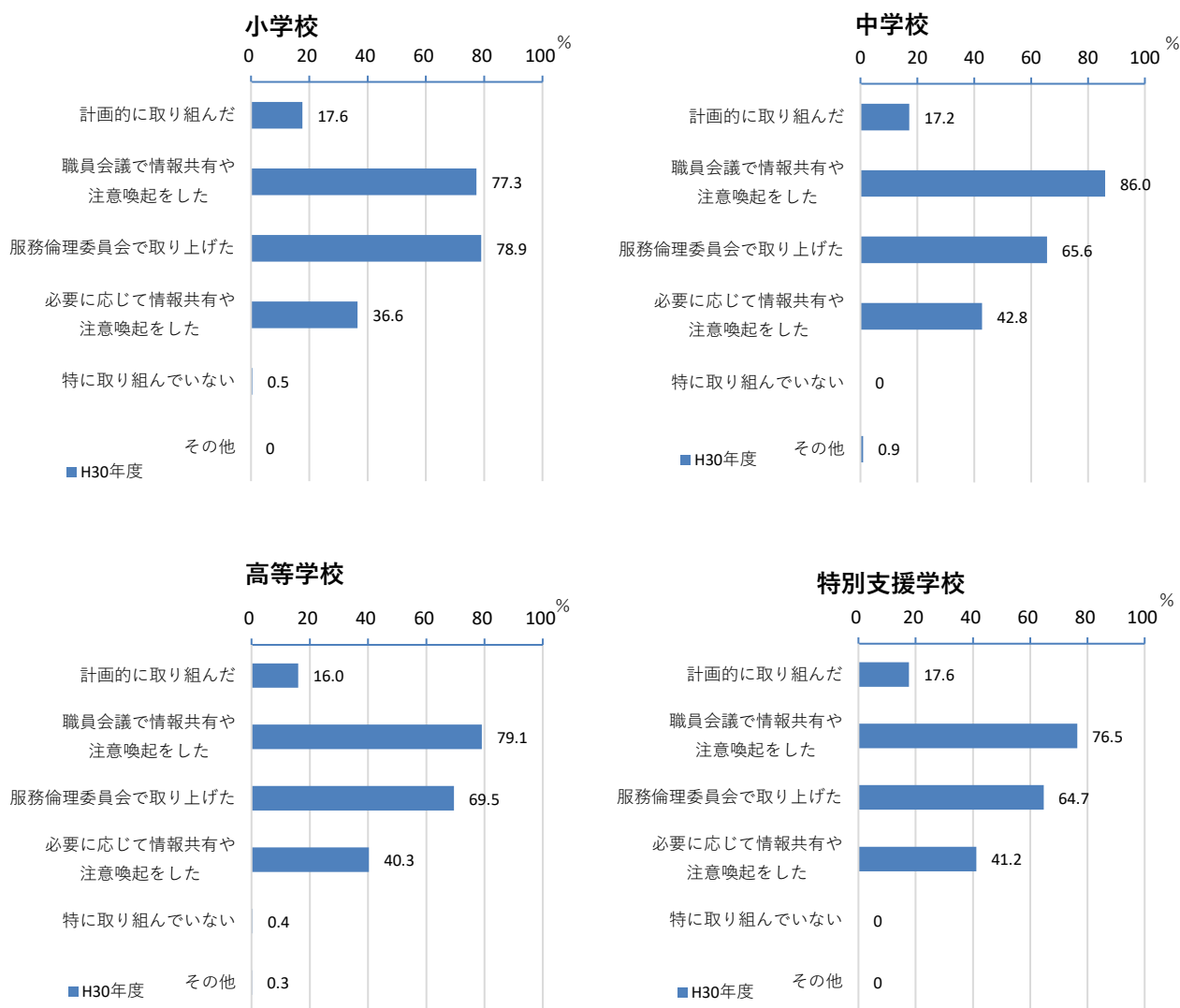
小学校、中学校では「個人情報の持ち出し禁止」、「個人情報を保管するときの留意点」について8割以上の学校で定められている。高等学校では、「個人情報の持ち出しに関する管理簿での対応」が8割以上の学校で定められている。特別支援学校では「個人情報の持ち出しに関する管理簿での対応」、「個人情報を保管するときの留意点」について9割以上の学校で定められている。

「キ その他」の主な記述は以下のとおりである。

- ・ 個人情報は、ネットワーク内には保存せず、USBメモリに保存し書庫で管理する
- ・ 個人情報の取扱は校務用PCに限定している
- ・ 個人情報廃棄時のルールがある
- ・ 個人情報流出時の危機管理マニュアルを定めている
- ・ 私有PCの校内LANへの接続を禁止している
- ・ 小学部と中・高等部で校舎が離れているため、校舎間でFCSを利用しており、個人情報のやりとりをする際のルールについて定めている

- (2) ① 平成29年度，個人情報保護に関して，校内でどのように取り組みましたか。（複数回答可）
- ア 校内研修等を通して，計画的に取り組んだ
 - イ 職員会議で情報共有や注意喚起をした
 - ウ 服務倫理委員会で取り上げた
 - エ 校内研修等を行っていないが，必要に応じて情報共有や注意喚起をした
 - オ 特に取り組んでいない
 - カ その他

② ①で「エ その他」を選択した学校は，その内容をお答えください。



個人情報保護に関して，小学校の77.3%，中学校の86.0%，高等学校の79.1%，特別支援学校の76.5%が「職員会議で情報共有や注意喚起をした」と回答している。また，小学校の78.9%，中学校の65.6%，高等学校の69.5%，特別支援学校の64.7%が「服務倫理委員会で取り上げた」と回答している。

「エ その他」の主な記述は以下のとおりである。

- ・チェックリストを活用して個人の取組について確認した
- ・情報教育便りを発行して情報提供を行っている
- ・市の利用規定に従って運用している